

チェコ経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Czech Republic)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先: 石原尚子 naoko.isihara@uk.mufj.jp)

概況	消費、労働市場
<p>チェコ経済は、個人消費に支えられ緩やかな回復基調を維持している。昨年秋以降進行した原油価格の下落などが消費のサポート要因となっている。第 4 四半期の実質 GDP 成長率（改定値）は前期比+0.4%と、第 3 四半期と同じ伸びとなった。また、2014 年通年の成長率は+2.0%と 3 年ぶりにプラスに転じた。月次のデータをみると、小売売上が底堅く推移しており、対口関係悪化による消費者マインドへの負の影響は顕在化を免れている模様である。また鉱工業生産は、昨年半ば以降、減速傾向にあったが、年末にかけて底打ちの動きがみられ始めている。</p> <p>インフレ率は、原油価格の下落から足元ゼロ近傍にあり、今後はマイナスとなる可能性も指摘されている。一方、名目賃金は前年比+2%前後の伸びが続いているため、家計の実質購買力増加が期待される。こうしたなか、足元の消費者信頼感指数は、リーマンショック以前の水準まで回復しており、この先も個人消費が底堅く推移する可能性を示唆している。</p> <p>2014 年の中央政府の財政赤字は 778 億コルナ（38 億ドル）と、当初の見込値である 1,120 億コルナ（55 億ドル）を大きく下回った。失業給付の減少や金利低下による利払負担の軽減、付加価値税（VAT）の増収などが赤字縮小に寄与した。2015 年の予算案には、公務員給与の引き上げや年金等の社会福祉関連支出の拡大が盛り込まれた。歳出増加により、2015 年の一般政府の財政赤字は対 GDP 比 2.2%に拡大するものの（2014 年の見込値は同 1.5%）、EU が基準とする同 3%以内には引き続き収まる見通しである。主要輸出先である西欧の景気低迷が続くなか、政策効果による下支えも景気回復基調の維持に寄与するとみられる。</p>	<p>12 月の実質小売売上高は前年比+5.9%となり、なかでも自動車、燃料の売上げがそれぞれ前年比+6.5%、同+13.6%と高い伸びを示した。2014 年全体では+5.4%と、自動車販売の堅調を背景に 2007 年来の高水準となった。</p> <p>昨年夏から秋にかけ、ロシアとの関係悪化に伴う景気先行き不透明感の強まりから消費者マインドは一旦悪化した。雇用環境の改善や原油価格の下落などに支えられ、再び上昇トレンドに転じている。失業率が約 5 年半ぶりに 6%を下回って推移するなか、足元の消費者マインドの水準はリーマンショック以前の水準まで回復しており、消費は今後も底堅さを保つ公算が大きい。</p>  <p>(注)消費者信頼感、失業率ともに季節調整済 (資料)Macrobondより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
GDP	物価、金融政策
<p>第 4 四半期の実質 GDP 成長率（改定値）は前期比+0.4%、前年比+1.5%といずれも速報値から上方修正された。需要項目別の内訳をみると、個人消費が前期比+1.2%と前期の同+0.2%から加速したほか、政府消費支出も前期のマイナスの伸びから同+1.9%と増加に転じた。また、総固定資本形成も前期に引き続き同+1.2%と底堅く推移した。外需についても、輸出が増加に転じたことを受け、純輸出（輸出－輸入）の寄与度のプラス幅が拡大した。</p>  <p>(注)季節調整済 (資料) Macrobond より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>原油・食料品価格の低下を主因に低インフレ状態が続いている。1 月の消費者物価上昇率は前年比+0.1%と、前月から横ばいで推移した。燃料を含む輸送費は同▲4.6%、食料品・飲料は同▲1.5%といずれも前月から下落幅が拡大した。一方、電気・ガス料金を含む住居費は、昨年初めの電気料金引き下げの影響が剥落したことなどから、同+1.2%と押し上げ要因となった。また、2014 年全体のインフレ率は同+0.4%となった。2013 年 11 月以降の中銀によるコルナ安誘導が輸入品価格の押し上げ要因となっているにもかかわらず、原油価格の下落によって、インフレ率は中銀の目標レンジ（2%±1%）を大幅に下回る状況が続いている。</p> <p>2 月 5 日の金融政策委員会では、政策金利が 0.05%に据え置かれるとともに、1 ユーロ=27 コルナを誘導目標とするコルナ売り介入の継続が決められた。中銀は、2015 年中のインフレ率は原油・食料品価格の下落といった供給側の要因により現状から横ばい、あるいはマイナス圏で推移するが、その後上昇に転じ、2016 年下半年にはインフレ目標の 2%に達するとの見解を示した。また、ECB による量的緩和はユーロ圏の景気・物価への影響が未知数であり、チェコ経済への影響も不透明であるなか、為替介入による金融緩和を少なくとも 2016 年下半年に入るまで継続するとした。</p>
生産	国際収支
<p>12 月の鉱工業生産は前年比+7.3%と、前月の同▲0.4%から持ち直した。自動車を中心とする製造業の高い伸び（同+9.8%）が押し上げに寄与した。2 月の製造業の購買担当者指数（PMI）は 55.6 と、前月の 56.1 から下落したものの、昨年 12 月の 53.3 をボトムに底打ち傾向にある。</p>	<p>2014 年の経常収支（速報値）は、前年の 29.0 億ドル（対 GDP 比 1.4%）の赤字から 7.5 億ドル（同 0.4%）の黒字に転じ、1993 年以来初めての黒字となった。中銀のコルナ安誘導を背景とする貿易黒字拡大などが寄与した。ただし、先行きについては、コルナ安の追加的な効果は限定的とみられるなか、内需の回復もあり、2015 年は再び経常赤字に転じる可能性が高い。</p>

チェコ経済・金融概況

1. 年、四半期

	2012	2013	2014	13/Q4	14/Q1	14/Q2	14/Q3	14/Q4
名目GDP実額* (10億米ドル)	206.8	208.8	205.5	53.2	52.8	53.1	51.3	48.6
実質GDP成長率* (q/q, %)	▲ 0.7	▲ 0.7	2.0	1.1	0.3	0.3	0.4	0.4
				1.1	2.3	2.1	2.2	1.5
(民間消費支出)* (y/y, %)	▲ 1.8	0.4	1.7	1.6	1.1	2.0	1.7	2.0
(総固定資本形成)* (y/y, %)	▲ 2.8	▲ 4.4	4.7	0.0	3.1	5.4	5.7	4.4
鉱工業生産 (y/y, %)	▲ 0.7	0.1	4.9	5.2	6.7	5.7	3.7	3.4
小売売上 (y/y, %)	▲ 0.9	1.1	5.4	3.8	6.8	4.8	5.6	4.7
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	3.3	2.5	3.6	3.5	2.8	4.0	3.7	3.8
消費者物価上昇率 (y/y, %)	3.3	1.4	0.4	1.1	0.2	0.2	0.6	0.5
賃金上昇率 (y/y, %)	2.5	0.0	-	▲ 1.7	3.3	2.3	1.8	-
失業率 (%)	7.0	7.0	6.1	6.8	6.5	6.2	5.9	5.9
貿易収支 (百万米ドル)	3,291	5,444	7,564	495	2,738	2,400	1,569	970
輸出額 (百万米ドル)	139,268	142,393	151,285	37,710	38,689	39,315	37,378	36,160
輸出伸び率 (y/y, %)	13.2	2.2	12.7	9.2	17.2	13.0	13.0	8.3
輸入額 (百万米ドル)	135,977	136,949	143,721	37,215	35,951	36,915	35,809	35,190
輸入伸び率 (y/y, %)	11.0	0.7	11.4	8.0	15.1	13.2	11.1	6.8
経常収支 (百万米ドル)	▲ 3,235	▲ 2,902	749	▲ 903	3,997	▲ 1,341	▲ 1,683	▲ 224
資本収支 (百万米ドル)	3,306	3,214	3,691	▲ 1,103	4,431	▲ 893	▲ 521	675
対内直接投資 (百万米ドル)	9,438	6,910	4,719	457	2,234	▲ 636	1,947	1,175
外貨準備高 (百万米ドル)	44,265	55,798	54,085	55,798	57,058	58,566	54,410	54,085
対外債務残高 (百万米ドル)	127,746	136,882	-	136,882	134,920	137,583	127,007	-
株価指数	1,199	1,216	1,240	1,244	1,260	1,268	1,223	1,209
短期金利 (Interbank 3m)	1.00	0.46	0.36	0.41	0.37	0.36	0.35	0.34
EU調整長期金利 (Govt.10y bond yields)	2.83	2.13	1.58	2.36	2.32	1.79	1.36	0.88
Koruna/USD	19.57	19.57	20.76	19.60	20.03	20.02	20.85	22.13
Koruna/Euro	25.14	25.99	27.54	26.68	27.44	27.45	27.62	27.63
Koruna/GBP	31.01	30.61	34.17	31.74	33.14	33.69	34.79	35.02

2. 月次

	14/07	8	9	10	11	12	15/01	2
鉱工業生産 (y/y, %)	8.4	▲ 5.7	8.5	3.2	▲ 0.4	7.3	-	-
小売売上 (y/y, %)	6.6	3.5	6.7	7.5	0.8	5.9	-	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	3.9	3.7	3.6	4.4	3.2	3.9	4.4	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	0.5	0.6	0.7	0.7	0.6	0.1	0.1	-
失業率 (%)	5.9	6.0	5.8	5.8	5.9	5.9	5.9	-
貿易収支 (百万米ドル)	524	107	928	583	532	▲ 134	-	-
輸出額 (百万米ドル)	13,249	10,634	13,477	13,318	12,377	10,505	-	-
輸出伸び率 (y/y, %)	20.2	2.7	15.7	11.0	4.1	10.0	-	-
輸入額 (百万米ドル)	12,725	10,527	12,549	12,735	11,845	10,639	-	-
輸入伸び率 (y/y, %)	18.0	2.2	12.7	9.8	4.2	6.3	-	-
株価指数	1,202	1,221	1,245	1,197	1,216	1,213	1,190	1,249
短期金利 (Interbank 3m) (期末値)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.34	0.34	0.33	0.33
EU調整長期金利 (Govt.10y bond yields)	1.48	1.40	1.21	1.05	0.82	0.76	0.54	0.59
Koruna/USD	20.29	20.89	21.39	21.77	22.18	22.46	23.99	24.30
Koruna/Euro	27.46	27.82	27.60	27.59	27.67	27.65	27.89	27.61
Koruna/GBP	34.64	34.89	34.87	34.98	35.00	35.09	36.37	37.26

(注) GDPデータは季節調整済み、貿易収支は通関統計より。ハイライトは速報値

(資料)チェコ中央銀行、チェコ統計局、IMF、他。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身で判断下さいませ、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。